

3 シンポジウム

(1) 参加各市紹介【武蔵野市】

(福生市 加藤市長)

それでは、私から進行をさせていただきますが、今ちょうどお顔が見えたようでございますが、皆さん私と違ってイケメンでございます。皆さん、明確で明瞭なお答えがいただけると思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

それでは、まずはじめに、武蔵野市の邑上市長からよろしく願いいたします。

(武蔵野市 邑上市長)

邑上でございます。よろしく願いいたします。

本日はお招きいただきまして、ありがとうございます。武蔵野市、皆さん、来られたことがありますでしょうか。吉祥寺は、ご存知かと思えます。ぜひ皆さん、お買い物は立川と言わずに、もう少し足を延ばして、吉祥寺に来ていただきたいと思えます。

今日は5分間で市の紹介と、防災の取組みを説明して欲しいとのことでございます。少ない時間ではありますが、レジュメに市の紹介を掲載しております。それにお目通しをいただきながらと思っております。

今、御案内した通り、武蔵野市は吉祥寺という街を抱えておりますが、人口規模としてはあまり大きくない、13万5千人という中で、面積も10.73平方キロメートルということで、大変高密度なんですね。人口密度から言うと、全国の市の中で2番目に高いんですね。埼玉県の蕨市が第1位で、従いまして、オープンスペースがあまりなく、市民は肩を寄せ合いながら生きているということで、酸素が足りてない市でございます。こちらに来て、大変おいしい空気を吸わせていただきまして、感謝をしているところでございます。

さて、レジュメの中では、3つの駅の紹介をしております。吉祥寺、三鷹、武蔵境。吉祥寺駅、三鷹駅、武蔵境駅が、市の中に存在している訳ですが、とりわけ吉祥寺がメインの街として、皆様方に評価いただいております。吉祥寺と言うのは「住みたいまち」ということもあるのですが、実際は家賃が高かったりして、中々住みにくいということになっておりますが、ぜひ、実際の色々な街並みを見ていただきたいと思えます。

2ページ目にですね、最近のトピックスですが、武蔵野市は平和を大切にしております。実は戦時中は、中島飛行機武蔵製作所という大規模な軍需工場が

ありました。ゼロ戦のエンジンを造っていたということもありまして、米軍の最初の本土攻撃の目標となってしまったんですね。その日が11月24日です。首都圏でB29による最初の空襲を受けたので、その日を「平和の日」にしたいということで、この議会でお認めいただいて条例が制定できましたので、今年第1回の平和の日事業をスタートさせたいと思っております。

それから、武蔵野市は大変小さいのですが、先ほど酸素が足りないと申しましたけれども、CO2もいっぱい出している都市でもございますので、ぜひ環境に配慮したまちにして行きたいということで、持続可能性のある「サステナブル都市」ということで、色々なことに取り組んでおります。太陽光発電も全小学校に設けておりますので、今後もっと広げて行きたいと思っております。

それから4番目で「水」ということも大切にしています。武蔵野市は8割方井戸水を使っているのですが、それは皆様方をはじめとして多くの地域に降った雨がやがて浸透し、武蔵野市域に来るといってもありますので、降った雨を大切にしたいということから、徹底して水の循環型都市を目指して行こうということを考えております。この写真では各小中学校の校庭に大きな穴を掘って、そこに雨水貯留浸透施設を積極的に設けております。武蔵野市内に降った雨の量が年間約1,800万トンなのですが、実はその量というのが武蔵野市民が使う水道量に匹敵するんですね。そういう理由もありますので、降った雨はなるべく下水に流さずに地中にしみ込ませていく、これが都市河川の氾濫や水害の防止につながるの、積極的に進めております。

それから5点目で、都市リニューアルに向けてということでございますが、武蔵野市は多摩の中で3番目に出来た都市で、今年で市制施行64年目を迎えますが、大変早期に色々な施設を整備したので、老朽化してきました。従いまして、上下水道のリニューアル、あるいは、小中学校の建替え等が課題としてありますので、計画的に取り組んでおります。

大変早口になりましたが、東日本大震災の対応でございますが、福生市さんも大変色々なことを積み重ねて敬服するところでございますが、武蔵野市でもやはり同じような取り組みをしております。ただ1点違うのは、武蔵野市の場合は市役所の本会議場の天井が落下してしまいました。たまたま議会中でしたが、その日だけは休会日だったので惨事を免れました。本会議中であれば、議員席に天井が落下し、大惨事でしたね。

それ以外に大きな被害はなかったのですが、被災地への支援はいち早く行ってまいりました。岩手県の遠野市と友好都市の関係を結んでおりましたので、遠野市は三陸沿岸の後方支援基地として、大変活躍をされたということもあって、市の職員だけでは手が足りないということをお伺いしましたので、被災後10日目には武蔵野市の派遣隊を送りました。以来、数回に亘りまして、当市

の職員を派遣し、遠野市職員のバックアップを行ってまいりました。以来、現地の様々な情報を聞いて、そこでのリクエストに応じて色々な支援をして行くということ、例えば救援物資も現地から聞いて、サランラップがないとか、洗剤がないとか、そういうピンポイントの支援を行ってまいりました。夏になりますとハエ取り紙がないとか、そういう細かい対応をしてまいりました。

3枚目の下の写真では、みんなが手を伸ばしていますが、これは、武蔵野市が国内での友好都市の関係を結んでいる、武蔵野市を含めて10市町の交流会なんですね。この度7月の時点で災害対策のためにも、この交流が単に友好だけではなくて、災害支援にもつながるような取組みをして行きましょうということで、サミット宣言をし、今後交流を深めながら、かつ、いざという時助け合いましょうということになりました。

最後のページでは、武蔵野市が今までしてきました支援関係を載せておりますが、福島県から多くの方が避難をされておりますので、市民と同様の対応を進めて行くということが書かれております。それから現在では、放射線の様々な心配を市民の方がお持ちでございますので、可能な範囲で測定をし、公表をし、なるべく安心してもらおうと対応しているところでございます。

その他としましては、当然のことながら、避難所の運営等もあろうかと思いますが、それ以前に自らのお住まいの建物が、耐震上強くなければ命を守れないということを強く言っておりまして、それぞれのお宅の耐震補強を徹底して行っていただきたいとPRしているところです。

また、合わせて、福生市と同じように、地域防災計画の見直しの取組みを進めているところですが、様々な課題を整理しております。

以上でございます。

(福生市 加藤市長)

ありがとうございました。私は武蔵野市が、日本で一番裕福な市じゃないかなと思っているのですが、武蔵野市でも様々な悩みがあることを、改めて認識させていただきました。